



2019・11・11

第 356 号

101-0065 東京都千代田区  
西神田 2-5-7 神田中央ビル 303

TEL 03-3221-5075

FAX 03-3221-5076

## 9条が生きる社会の実現は人類の希い

### 憲法公布 73 年、決意新たに

【愛知県／あいち九条の会】 日本国憲法公布 73 周年の 11 月 3 日、あいち九条の会は名古屋市で「憲法九条を守ろう 県民のつどい」を開催、1600 人が参加しました。

姜尚中東京大学名誉教授は講演で、国際社会での日本の役割を強調。「日韓が協力し、南北朝鮮半島の平和協定の締結、北東アジア地域の多国間の枠組みをつくれれば、中国、ロシア、アメリカ、日本、朝鮮が入る安全保障の枠組みができ」、「北東アジアでの非核地帯も不可能ではない」と話しました。

松田正久代表世話人は「いよいよ憲法の正念場。世論調査では改憲不要が半数を超えている。地域に広げ、改憲反対の声を大きく上げよう」とあいさつ。

本秀紀事務局次長は「安倍改憲の波状攻撃に対抗しよう。改憲案の学習会、街頭でのアピール、署名で改憲の危険性を世論に訴えることが必要」と呼びかけました。

文化行事では、県民有志でつくる「PEACE9 in あいち合唱団」、中部フィルハーモニー交響楽団員による木管五重奏と吉田友紀さんの歌を楽しみ、あいち美術家 9 条

改憲に向けた「国民運動」を強調  
自民党は 10 月 7 日、欧州調査団の報告を名目に憲法審査会の開催にこぎつけ、引き続き「自由討議」の形で同審査会を開催することを主張しています。

一方、11 月 4 日に開かれた改憲・右派の「国家基本問題研究所」のシンポジウムでも自民党の新藤義孝政調会長代理は審査会の開会に意欲を示しつつ、「国民運動にしないとうまくいかない。ある一線を越えればみんな乗ってくる」と強調しました。

同研究所の桜井よし子理事長は、「安倍総理を信じて私たちが盛り上げよう」と草の根の改憲世論盛り上げを呼びかけました。

の会の絵画・陶器、県内各地の九条の会の活動展示もおこなわれました。

### 「憲法生かそう」訴え繁華街パレード

【福岡県／九条の会福岡県連絡会】 11 月 3 日、九条の会福岡連絡会は、福岡市で県民集会を開き、参加約 500 人が繁華街・天神をパレードし「変えるな 9 条、いかそう憲法」と声を上げました。

石村善治代表世話人（福岡大学名誉教授）が「日本の憲法は世界の平和を主導していくもの」とあいさつ。日本共産党の田村貴昭衆院議員、ふくおか緑の党の荒木龍昇代表がスピーチ。立憲民主党、国民民主党、社民党からのメッセージが寄せられました。

改憲に漠然と疑問は持っていたという井口哲さん（27）は「（憲法について）もっと考えていかなければ」と語りました。野党共闘の訴えに「なし崩しに自衛隊の海外派遣を進める政治を変えるには野党が1つにならないと」とうなずきました。

### 改憲阻止へ立場を超えた団結訴え

#### 【徳島県／県内九条の会等の実行委員会】

3日、県内の九条の会や平和団体でつくる実行委員会主催の第9回徳島九条まつりが徳島市で開かれ、終日にぎわいました。

徳島大学の戦跡をめぐるピースウォークのほか琉球國祭り太鼓徳島支部のエイサーなどが披露され、大喜利では、憲法などを「お題」にした謎かけで会場がわきました。

安倍9条改憲に反対する3000万人署名が呼びかけられ、市民が応じていました。

十枝修実行委員長は「安倍政権は執念をもって改憲に挑んできている。9条を守ることで戦争のない社会をつくってきた」と立場の違いを超えた団結を訴えました。

市内の女性（77）は「とんでもないこと。戦前の亡霊のような安倍政権は、絶対に許せない」と語りました。

### 沖縄に連帯し新基地反対の声を

【奈良県橿原市／橿原市9条の会】 橿原（かしはら）市9条の会は3日、「安倍改

憲阻止！辺野古埋め立て即時中止！」近鉄大和八木駅前集会を開き、60人が参加。

水谷和宏代表世話人は、先の参院選挙で奈良県でも市民と野党の共闘が前進したと述べ、「3000万人署名の運動を広げ、安倍改憲ノーの声を広げていきたい。沖縄の辺野古に基地をつくらせないたたかいに本土も連帯しよう」とあいさつしました。

国民民主党奈良県総支部連合会の藤野良次代表、日本共産党の太田敦県議、新社会党奈良県本部の森川満委員長が、「ともに頑張りましょう」と連帯あいさつをしました。

集会終了後、参加者は市役所までデモ行進しました。

### 安倍政権を倒すことが平和への一歩

【岐阜県／岐阜・九条の会等の実行委員会】 岐阜市で3日、「2019年平和のつど

い」が開かれ、約700人が参加しました。「岐阜・九条の会」などの実行委員主催。

児童文学者の那須正幹さん（77）が「ズッコケ3人組平和を語る」と題して講演しました。3歳の時に広島で原爆に遭い、新憲法施行の5歳に、父親から「これからは戦争がなくなる」と教えられ、子ども心に「うれしかった」と振り返り、青年時、「軍隊を持たない、戦争をしないと書いてあるのに、自衛隊があるのはおかしい」と気づき、児童文学で戦争について書くことを決意した思いを語りました。

平井花圃実行委員長（県ユネスコ協会会長）が開会あいさつ。劇団風の子・中部による朗読劇が演じられました。

「いっしょに歌おう」では、増田康記さん（69）＝シンガー・ソングライターが劇

団風の子の青年団員とともに、会場と一体に合唱しました。

会場ロビーには、市民公募の 36 人 100 点以上の短歌・俳句などが展示されました。

### 「戦争はイヤ」と中高生が署名に列

**【東京都足立区／千住九条の会】** 3日、「憲法9条を守り生かそう ピースアクション in 北千住」を開催し、200名近くの人々が参加しました。始めに、北千住駅までサウンドパレードをおこない、「9条守ろう！」「憲法守ろう！」「安倍政権は総辞職！」「戦争したがる総理はいらない！」などラップ調でコールすると沿道から中高生や若者が一緒にコールしてくれたり、踊りだしたり喜んでくれました。また駅前では、北千住教会牧師や立憲民主党、日本共産党、緑の党、市民らがリレートーク。トークの合間にトランペット演奏や歌、憲法前文・第9条の音読も行い、3000万署名にも応じてくださいました。今回は着ぐるみも用意し風船も渡して大人気で、子どもたちが風船を欲しがるのでママやパパも署名してくれることになり75筆集まりました。

(千住九条の会 中田 順子)

### 知事選での共闘候補勝利を決意

**【高知県／こうち九条の会、女性「九条の会」高知】** こうち九条の会、女性「九条の会」高知は2日、高知市で憲法公布73周年県民のつどいを開き、約160人が参加。九条の会の小森陽一事務局長が「文学者と日本国憲法九条」と題して講演し、1990年代後半に作家の故・井上ひさし氏と一緒に、さまざまな文学者をゲストに招いた昭和文

学史の座談会で九条が大事だという思いを共有し、九条の会に文学者が名前を連ねることにつながったことなどを紹介しました。

その上で、国会で改憲案の審議入りが狙われていることに注意を喚起。3000万人署名の推進や、7日告示の高知県知事選で深化する市民と野党の共闘を、総選挙に向けて発展させることなどを呼びかけました。

谷脇和仁事務局長が、県知事選の野党統一候補の松本けんじ氏が「憲法を生かした平和行政」を公約に掲げていることを紹介。

参加した小松章さん(75)は「草の根で頑張らないといけない」と話しました。

### 改憲策動とのたたかい、今が正念場

**【富山県／大学人9条の会富山】** 富山市で2日、渡辺治氏を迎えた講演会を開催、大学人9条の会富山が主催。日本国憲法をまもる富山の会と「9条の会」富山県連絡会が共催。約100人が参加しました。

渡辺氏は「安倍改憲をめぐる参院選後の新たな情勢と市民の課題」と題して講演、「改憲勢力3分2議席は阻止したが、安倍首相はあきらめていない。国民投票も見据えて全国の衆院選挙区に連絡会議を設立する方針を出すなど草の根からのたたかいを重視している」と警告し、「3000万人署名はじめ草の根の運動の強化、9条改憲の危険を市民に訴える意義」を強調しました。

富山市の70代の男性は「3000万人署名が大事だと改めて思った、地域で粘り強く取り組みたい」と話していました。

### 多様性尊重しつつの共同が大事

**【神戸市北区／6地域9条の会】** 神戸

市北区の6つの9条の会が4日、作家の高橋源一郎氏を招いて第14回北区9条のつどいを開き、350人が参加しました。

高橋氏は「ぼくらの憲法なんだぜ」と題して講演。社会から発せられる言葉やメッセージで洗脳され「常識」を多くの人が疑わなくなっていることを指摘し、一人ひとりが考え、自分の意見を持つことが民主主義の原理だと強調。憲法も全員が同じ意見ではなく、さまざまな考えを持つ人が一緒にいる多様性が重要で、少しでも違うからと廃除すれば、最後には1人になってしまうとして、「違った意見の人たちが一緒に動くことが、共同体を豊かにしていく唯一の方法」と語りました。

星和台・鳴子九条の会の羽柴修弁護士が主備者あいさつし、「運動が息切れする時は、立ち止まって、しっかりと深呼吸して活動を続けていこう」と訴えました。

### 憲法9条の国際的意義確認

【宮城県／みやぎ憲法9条の会】 「憲法9条を守り生かす宮城のつどい」が4日、仙台市で開かれ、1100人が参加しました。

みやぎ憲法9条の会の山形孝夫共同代表は、「世界情勢はますます平和から遠のく中で9条を守ることを意味を改めて学び、考えていきたい」とあいさつしました。

講演した国際ジャーナリストの伊藤千尋氏は、憲法9条の碑が、アフリカのカナリア諸島やトルコにあり、平和を願う世界の人々の象徴になっていると紹介し、「9条2項「戦力不保持」を生かし、世界から戦争をなくすのは日本の責務と強調しました。コスタリカが、憲法で軍隊をなくし、小学

生から民主主義教育をしていること、沖縄辺野古の県民投票が若者の力で成功したことを指摘、「9条を生かした国づくりのビジョンを示せば若者は変わる」と訴えました。

各地域の9条の会の代表が登壇し、「戦争への道を断固拒否しつづけよう」と呼びかけるアピールを大きな拍手で採択しました。

### 日韓関係の悪化打開を考える

【新潟県／新潟大学9条の会】 新潟県の新潟大学五十嵐キャンパス（新潟市西区）では、1日夜、冷え切った日韓関係の改善をはかろうと、新潟大学9条の会が講演会を開き、学生や教員ら120人が参加。

同会事務局の森田龍義さん（同大学名誉教授）が、「今、日韓政府の陰悪な関係が両国の国民に暗い影を落としている。東アジアの平和のために私たちが何かできるのか、考えていきたい」とあいさつ。

一橋大学名誉教授の糟谷憲一さんが、朝鮮（韓国）の近現代史について講演。日本政府が、朝鮮政府を武力で抑えつけて主権を奪っていったことを指摘。日本による植民地支配について、「多くの朝鮮人が土地や財産を奪われ、意思決定の機会を奪われた。就学率も低く、生きるために日本で働かざるをえなかった。『徴用工』にはそういう人も含まれる」と話しました。

糟谷さんは、学生からの「日本人と同じ待遇の朝鮮人もいたと聞いているが」との質問に答えて、「朝鮮人は住居が制限され、強制的に貯金をさせられた。日本人が働かざるを得ない炭鉱や鉱山で訓練を受けずに働かされた。全体を見れば、強制性があったと言える」と強調しました。